



1 (一小)おなじみ“ピコ太郎” 2 (一小)合唱“栄光の架け橋”(ゆず)
3 (二小)合唱“パプリカ”(NHK) 4 (二小)2020“オリンピック”競技

新

緑が綺麗な5月14日、毎年恒例の小学校音楽会が開催されました。子どもたちの素晴らしい歌声に日々の疲れも癒されました。

今回はいろいろなアイデアで楽しませてくれる先生方の出し物と歌をご紹介します。一小はお笑い芸人に扮した先生方が今人気のネタを披露、二小は来年の東京オリンピックを題材とした様々な競技ネタで、共に笑いと歓声が溢れました。

CONTENTS

目次

1 一小・二小音楽会	7 鞆の眼 第二小学校校長 佐々木哲也さん
2-3 歩け歩けの集い	ニューフェイス
4-5 秋山常楽院	8 教育委員会だより 公民館の動き・戸籍 一喜一憂
6 素顔 卓球部コーチ	

歩け歩けの集い

令和元年6月2日(日)開催
静岡県富士宮市
平成棚田ウォーキングコース

毎年恒例の川上村公民館主催による歩け歩けの集いが6月2日に開催されました。

今年は静岡県富士宮市の平成棚田ウォーキングコースと呼ばれるコースを、総勢109名の参加者とともに約5キロの道のりを歩いてきました。コース上には国の名勝及び天然記念物に登録されている白糸の滝や、歴史的な名所があります。

当日は曇り空のため、普段なら富士山の絶景が広がるスタート地点の白糸自然公園からも残念ながら富士山は見えませんでした。とても歩きやすい気候となりました。白糸自然公園で出発式を行い、白

糸の滝に向かってスタート。白糸の滝までの道中は平成棚田や朝日滝、森林の中など様々な景色が広がっていて、参加者の皆さんは景色を楽しみながら進んでいきました。約5キロの道を歩き白糸の滝に着。今回のコースは高低差があり、例年に比べて大変だったように思いますが、頑張って歩いた分、白糸の滝は絶景に見えたのではないのでしょうか。

昔は小学校の修学旅行のコースにもなっていた白糸の滝。参加者の皆さんの中には、その当時のことに思いを馳せながら白糸の滝を訪れた人もいたようです。

「疲れたけど、楽しかった」
元気いっぱい
歩いた後のお弁当は
とてもおいしそう。



「暑くなくて歩きやすかった。アップダウンがあつて距離もちょうど良かった。景色もきれいだつたけど、富士山は見たかつたな」
毎年参加されている皆さんも、今回の行程は満足のご様子でした。



参加者の中に爽やかなカップルを発見。今年、中学校に赴任された長野先生でした。お相手は将来の旦那さん。お二人はアウトドア派で、参加するのが楽しみだったそうです。「川上村の豊かな自然を気に入っています。違う雰囲気の中をゆっくり歩いて気持ちいいです。とても楽しかったので、他のイベントにも参加したいです」と笑顔で話してくれました。



毎年参加されているベテランの皆さん。「とにかく健康は足から。歩くことが元気の秘訣だね。歩け歩けは、いろいろな所を歩けるからとても楽しみ。声をかけるわけでもないけど、毎年同じメンバーで参加してるよ」



朝日滝



白糸の滝



駒止の桜

歩け歩けの集いに参加して

油井 惺栄

僕は1年ぶりに歩け歩けの集いに参加しました。今回は白糸の滝に行ってきました。僕は母と妹と祖父の5人で参加しました。

スタート地点の白糸自然公園では、バラ園など30分ほど見学しました。バラ園には色とりどりのバラが咲いていて、出発式までも楽しめました。

出発してまず平成棚田を通り朝日滝に向かいました。朝日滝はとても大きな滝で迫力がありました。その後にはしばらく上り坂が続きましたが、とても景色が綺麗であり疲れは気になりませんでした。

そうして着いた駒止の桜では桜の花は見られませんが、白糸の滝に向かう前にしっかりと休憩ができました。そこからはまた上りが続き、曾我の隠れ岩も見学しながら歩いていきました。

曾我橋を渡り、やっとゴールの白糸の滝に着きました。入口の公園で母が作ってくれたお弁当を食べました。みんなで白糸の滝と音止の滝を見ました。白糸の滝は何本もの系のような滝が流れ落ちていて、気持ちの良くなるきれいな滝でした。音止の滝はとても大きな音で迫力がありました。じっくりと滝を見てまわり、家族へのお土産を買いました。

帰り道、今人気の道の駅朝霧高原に寄りました。たくさんのお土産が見られて楽しかったです。そこから2時間程かけて川上村に帰ってきました。家に着いた時にはもうへとへとでした。それでもとても良い一日になりました。とても楽しかったので、また来年も行きたいです。



常楽院堂 (小諸市市町)

歴史口マン

悠久の刻を経て

秋山地区 常楽院所蔵品譲り受け

四工場と呼ばれ、町田市休暇村がある場所です。十六世紀後半当時は、金の採掘が行われており、工夫を中心にしてきた集落の中にできたお寺が常泉坊です。一五六五年頃の話で、村有形文化財として現地に墓碑が残されています。

世代を重ね慶長十八年、五世常泉坊はその有能さを認められ、藩主の命により小諸に移り住みます。秋山地区のお寺を閉じた常泉坊は、新たな地で金峰山常楽院を開山しました。その際、木像や位牌、書物などを運び移し常楽院に収めたのです。

なぜ小諸に？

残念ながら当時の常楽院は現存しませんが所蔵品の一部は祠に収められ、常泉坊の子孫にあたる相木家により大切に維持管理されてきました。

書物などからその経緯を知った川上禮三氏、上田貢氏をはじめとする有識者は、相木家に赴き所蔵品を調べより研究を重ね

ていました。その中にいたのが林亀美夫さんで、以後相木家との交流を深めてきたのです。

現在常楽院の祠を守っているのが相木春子さん。姉の節子さんはかつて第二小学校で教員をしており、その縁で秋山を訪れることもありました。ある時、音楽会に招待されて来村したお二人、亀美夫さんの提案で初代常泉坊のお墓参りをしたそうです。墓碑が文化財として大切に守られていることと相木家のルーツを知った節子さんは、痛く感動するとともに秋山地区に愛着を持つたといいます。

近年、相木さんから所蔵品の維持管理が困難になり、秋山地区で譲り受けてほしいとの連絡がありました。当初、小諸市への依頼も考えたのですが、発祥の地であり縁のある秋山地区にお願ひしたとのことでした。

これに対し亀美夫さんは文化財保護委員会への相談などあらゆる対応をした末、檀徒総代と林野保護組合の協力のもと、秋山地区で譲り受ける運びとなったのです。

常泉坊の子孫

そもそも何故、秋山地区にあったお寺の所蔵品が小諸市にあるのか。

一年前、秋山地区で歴史的に重要な出来事がありました。かつて秋山地区にあった常泉坊とゆかりを持つ品々が、長い年月を経て地元に移されたのです。維持管理されていたのは遠く離れた小諸市、常泉坊の子孫にあたる相木さん宅。一連の経緯をご存じの林亀美夫さんを中心に、檀徒総代、林野保護組合により譲り受けることとなりました。

常泉坊があったのは、まだ秋山地区ができる前、現在の秋山

そして発祥の地へ

半年間、協議や視察を重ね、譲り受けに向かったのは平成三十年六月十日。亀美夫さんを中心に檀徒総代、林野保護組合理事会計、総勢十人で小諸市に赴きました。

歴史ある相木家でまず目にしたのは、歴代住職の位牌。全部で四柱あり、五世常泉坊の立派な位牌もありました。また常泉坊傳と書かれた掛軸があり、常泉坊の由来が記されていました。メンバーのほとんどが初見だったので、歴史を物語る品々をしげしげと眺めていました。庭の一角にあるのは常楽院堂。かつての常楽院の品々を収めてある祠です。祀られたご本尊の脇には、教体の木像が収められていました。



歴代住職位牌

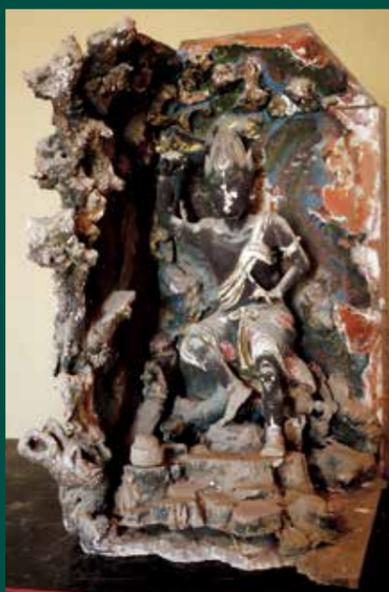
蔵王権現像や不動明王像など五体の木像があり、そのうち二体は役行者像です。これは初代常泉坊が修験道に入り、山伏修行を行った所以と考えられています。その証拠に法螺貝も安置されていました。重厚な笈の中にはいくつもの書付が入っており、当時を知る資料となりそうです。どれも時代のついた物ですがほとんどが原型を留めており、いかに丁寧に管理されていたかが見てとれました。搬送作業は丁寧かつ慎重に行われました。原型を留めているとはいえ大変もろくなっているため、一体一体毛布で包みコンテナに収めてから車に積みました。残念ながら二体は崩れている箇所がありました。その破片も余すことなく譲り受けました。立ち会った相木さん姉妹は、

長年守り続けた所蔵品が運び出されるのを見て、寂しいとも安堵ともとれる表情をしておられました。末永く大切にしてください。長年守り続けた所蔵品は、秋山地区の宝蔵院に運ばれました。書物によるとこの宝蔵院も常泉坊が建てたそう、大変ゆかりのあるお寺なのです。いかに守り維持していくのか、今後の課題ではありますが、宝蔵院に仮安置することとなりました。はるか四百年前のお寺の物語。時代を経て、世代を重ね、今に受け継がれる貴重な品々。その所以を知り史実をなぞる時、歴史をつなぎ紡いでいく責任の重さを感じました。

受け継がれる歴史



不動明王像



蔵王権現像



役行者像



役行者像

常楽院の主な所蔵品



笈



常泉坊伝掛軸

川上村の素顔

川上中学校 卓球部コーチ

赤堀 公子さん
藤原 千春さん

今年も素晴らしい成績を残した川上中学卓球部。佐久大会では団体第5位で東信大会進出。個人はベスト16が2名。東信大会では団体で一次リーグ突破、二次リーグで敗退。個人では1名が県大会進出。

この卓球部を東信大会をもって退任された赤堀公子コーチと、3月で退任された藤原千春コーチおふたりにお話を伺いました。



赤堀 公子コーチ

藤原 千春コーチ

—— 中学卓球部のコーチはいつから開始しましたか

2005年に保護者から依頼があり、2006年4月からふたりで一緒に指導を開始しました。その年以降、佐久大会においては団体戦で上位3位以内に入ることが多くなりました。

—— ご自身では卓球をいつから始めましたか

ふたりとも中学校の部活からです。

公子 当時新任で来た松島先生と菊原コーチの指導が熱心で、着任後には全国大会にも出場できた年もありました。同期や先輩は後に実業団でプレーする程の最強部員の中、自分はそれほど強くはなかったのですが……。

千春 現在も他地域では小学生の頃から卓球に携わる環境があり、経験豊富な中学生が多い中、川上中学の部員はみんな中学生で始めてここまで上達していることは素晴らしいと感じています。

—— コーチとして大切にしていることは

団体戦で勝つてこそ部活動の意味があると、団体戦第一に頑張っています。

千春 「1×11名」以上（部員数の力+αの結果）になれることができると、そうでなければ良い結果は出ない」と常に部員に伝えています。

公子 「自分を伸ばすことができるのは、コーチではなく自分自身」。私たちにできるのはきっかけを作ることだけです。

2人 卓球の技術上達だけでなく、卓球を通じて得たものを今後の人生の糧にしてほしいと考えています。

怒られたり、時には嫌になつたりする、そんな感情や自分自身と向き合いながら練習を重ねる。緊張やプレッシャーの中で闘い抜く。そんな経験こそが大事だと思います。

—— 指導していて良かったことは

どんどん上達していくのももちろん、精神的・人間的に成長する場面に立ち会えたことは、得難い経験でした。

—— これからの子どもたちに思うことは

最近の子どもの身体能力、基礎体力の低下を著しく実感し心配。

また、部活動では、部員数が多い時期には部員同士が切磋琢磨できていたことがとても大きかったと、生徒数が減少したここ数年で実感しています。

ちなみに今秋の新人戦は、1名足りず団体戦が組めません。それだけは残念に思っています。

最後に

中学卓球部コーチは退任しますが、今年11月には卓球愛好会を立ち上げ、年齢や属性を越えて経験を高め合える環境を作りたいと考えています。

初心者も経験者も、どんどん参加してください！



この4月より、川上第二小学校でお世話になっております佐々木哲也です。佐久市立切原小学校より参りました。佐久の人間ですが、南佐久での勤務は初めてとなります。でも川上村は教育事務所社会教育を担当していた時に、何度か文化センターに訪問させていただきました。ありがとうございました。千曲川の源流に魅せられて、源流経由で甲武信岳に登ったこともあり、南佐久の中では一番なじみのある村かなと思っています。また、息子の小学校のスケートクラブの保護者をしていた時に、いろいろな大会で川上第二小学校の子どもたちが疾風のごとくリンクを滑走する姿が強く印象に残っていました。

できるのかなと思いい、次の2点について今年頑張つてやってみようと思いました。

1つ目は、故郷、川上村を誇りに思える子どもを育てることです。そのために前任の高橋校長先生が「源流の子応援隊運営委員会」を組織してくれたのをさらに充実させ、地域の皆さんとふれあう機会を増やし、地域の「ひと、もの、こと」に関わる学習を行い、村の豊かな自然や文化、それと共に生きる人や故郷への思いを深める学習を進めていきたいと思っています。

さて、赴任して驚いたことは、寒い、ということと日常見慣れている田んぼがなく、マルチシートに覆われた一面の畑であったことです。以前、更埴地方の学校に赴任した時に、長野県では比較的温暖な気候を利用しての稲と麦の二毛作を行っていたのも驚きでしたが、それ以上に日常見慣れている田んぼを見ないというのも、頭ではわかっていたものの、実際に住んでみての驚きでした。

もう1つは「学び合い」の日常化です。来年度より学習指導要領が新しくなります。そのキーワードは「主体的で対話的な深い学び」です。そのために、授業に対話場面を位置づけ、考えたこと、疑問に感じたことを伝え合い、さらに自分の考えを深めていく学習を進めていきたいと考えています。この学習を進めていくことにより20年後、30年後、社会に対応できる子どもたちを育てていきたいと思っています。

さて、新米校長として赴任して自分は何が

6月に入っても、まだ肌寒い日々が続きますが、人が温かい、この川上村が大好きです。今後いろいろな面で皆様方にお世話になります。よろしく願います。

NEW FACE NEW FACE NEW FACE NEW FACE NEW FACE NEW FACE

川上村のニューフェイス

まぶしい笑顔に、かわいさ溢れるニューフェイス。
個性的なお名前に、お父さんお母さんの愛情も溢れています。

お兄ちゃん大好き～！
早く一緒に遊びたいな！



りの

小林 莉子ちゃん
3月4日生まれ

梓山 遥・清美
(第二子)

いっぱい遊んでね！



りの

由井 璃音ちゃん
2月15日生まれ

御所平 将輝・聡美
(第一子)

教育委員会 だより

人権の花運動

6月20日に第一小学校で人権の花運動の取り組みとして植栽作業が行われました。この運動は、法務省の人権啓発運動の一環として行われているもので、児童たちが協力し花を育てることで、協力することの大切さや生命の尊さを実感し、やさしさや思いやりの心をはぐくむことを目的に行われています。



この日は、1・6年生、2・5年生、3・4年生に分かれて植栽を行い、うまくできない下級生を上級生がやさしく手伝う姿が見受けられました。この日植えられた花は村内の公共機関等で見ることが出来ます。

山中大地選手 講演会

7月2日に中学校で山中大地選手の講演会が開催されました。

「スケート人生、過去・現在そして未来へ」と題し、自身が夢に向かって生きていく上で経験したことや、様々な決断を通じて感じたことをお話しされました。また、山中選手から生徒たちに、他人から与えられるのではなく自分で考えて行動すること、自分で決めたことを恐れずに挑戦してほしいことなどのメッセージが送られました。生徒たちからたくさんの質問がされ、「自分も夢に向かって頑張ろうと思った」と感想が述べられました。

公民館の動き

- 5月11日 子ども公民館教室
- 5月17日 スポーツ推進委員会
- 5月25日 婦人学級運営委員会
- 6月2日 歩け歩きの集い
- 6月11日 館報編集委員会
- 6月22日 子ども公民館教室



戸籍の窓口

五月一日～六月三十日受付

お誕生おめでとうございます

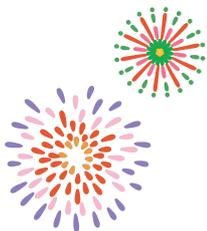
- | | |
|--------|-------|
| 堀込 茉那 | 和志 智美 |
| 豊田 芽衣莉 | 真輝 二葉 |
| 井出 風咲 | 博基 季恵 |

ご結婚おめでとうございます
末永く幸せに

- | | |
|--------|---------|
| 吉澤 真志 | 樋沢 佐久穂町 |
| 井出 百合華 | |

- | | |
|-------|-------|
| 渡邊 大成 | 原 山梨県 |
| 今澤 光里 | |

- | | |
|-------|-------|
| 渡邊 優花 | 原 群馬県 |
| 田所 洋平 | |



お悔やみ申し上げます

- | | |
|--------|---------|
| 林 四五治 | 秋山 八四歳 |
| 吉澤 理男 | 樋沢 八四歳 |
| 山本 次郎 | 御所平 八六歳 |
| 新海 正子 | 御所平 六九歳 |
| 伊藤 幸子 | 居倉 九四歳 |
| 関 大 | 梓山 八八歳 |
| 小林 尊幸 | 原 九三歳 |
| 風間 重夫 | 梓山 九六歳 |
| 小須田 正子 | 原 八四歳 |

一喜一憂

「そんなつまらないこと考えてるの？ 私、ひたすらお金のこと。貯金額のこと考えてるよね」とは、姉の言葉。

「ね、苗植えの時、何考えてる？」との問いに、私が「え？何考えてるって、苗植えのことですよ。いかにこの苗を速く丁寧に植えられるか考えるけど？」と答えたことが、どうやら彼女にしてみたら「つまらないこと」らしい。

そして彼女は、仕事中にひたすら、お金の節約へ思いを馳せているらしい!! なんて、漫然。緊張感の無さ。増えるはずのない貯金額に思いを巡らせる方がよっぽどつまらないことだよ……と、絶句している私をよそに、更なる追い討ち。なんと妹は、「今、宇宙人来たかどうか考えてる」と答えたのである。もはや脳内は異次元へ。数年前の苗植え中の、この一件以来、がむしゃらな自分が馬鹿馬鹿しく、単純作業中は意識して、呑気なことを考えています。

すると……、いいんです。体の調子が。まだ余力が残っている状態で、明日に繋がるんです。思考にわずかな余白があるだけで、体が随分と楽に感じるので。

農家100日戦争、それぞれの形で、心も体も大切に乗り切れたらいいですね。

【村勢】

総面積	209.61km ²	総人口	3,792人
世帯数	1,213戸	男	1,933人
		女	1,859人

(6月30日現在)